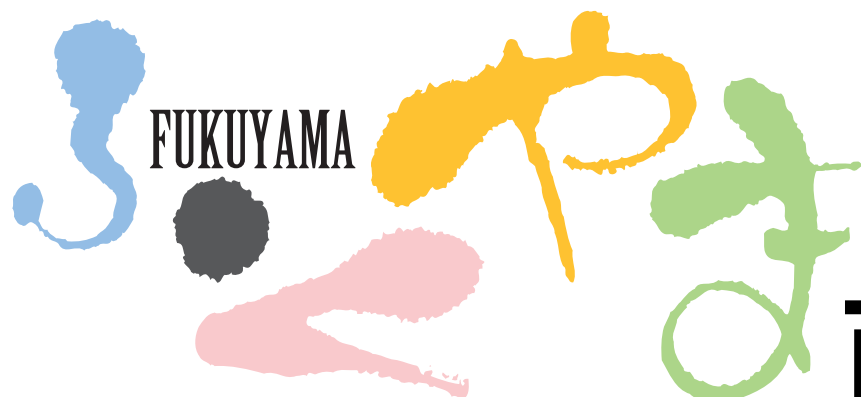




市議会だより



No. 18

2 0 0 6
平成18年8月1日

沼隈半島(臼木山)から内海町を望む

～新体制で福山のさらなる発展を～

主な内容

6 月 定 例 会 号

議会の新体制決まる……………	2～3
質問および答弁の要旨……………	4～7
議会ニュース……………	8
可決した意見書……………	8
請願の審議結果……………	8

CONTENTS

議会の新体制 決まる

6月の市議会定例会は、6月8日から23日までの会期16日間で開催されました。
議員の選挙から2年が経過した本定例会では、議長、副議長の辞職に伴う後任の選挙を行い、議長に蔵本久議員、副議長に桑原正和議員を選出しました。
また、議会選出の監査委員の選任の同意や、任期満了となる常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任、さらに特別委員会の委員の一部交代などを行い、議会内の新しい体制が決まりました。

就任のあいさつ

福山市は、本年市制施行90周年という大きな節目の年を迎えました。

市民の皆さまの深い郷土愛と英知と努力により、今日、備後の中核都市として発展を続けており、今後ますます市議会の果たす役割は大きくなるものと考えております。議決機関、監視機関としての役割を果たすとともに、市民の皆さまの願いを市政に反映し、郷土福山のさらなる発展のため、積極的に議会活動を展開してまいります。

この市議会だよりで、その活動内容をお伝えしてまいりますので、ご覧いただくとともに、引き続き議会活動へのご理解とご支援をお願い申し上げます。



蔵本議長(左)と桑原副議長

■議長・副議長の略歴

蔵本久議長

昭和55年から現在までの間、議長、監査委員、議会運営委員会委員長、総務常任委員会委員長などを歴任、鞆町、60歳

桑原正和副議長

平成4年から現在までの間、監査委員、建設農林常任委員会委員長、競馬事業特別委員会委員長などを歴任、駅家町、59歳

■議会選出監査委員の略歴

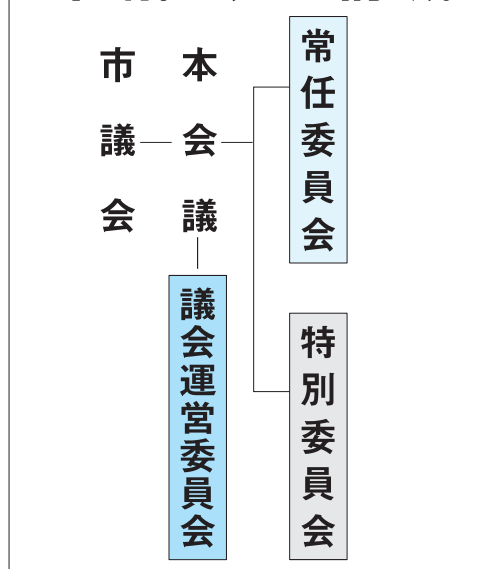
上野健二委員

昭和59年から現在までの間、副議長、議会運営委員会委員長、民生福祉常任委員会委員長などを歴任、鞆町、63歳

小川勝己委員

平成4年から現在までの間、農業委員、総務常任委員会委員長、競馬事業特別委員会委員長などを歴任、千田町、48歳

市議会の構成



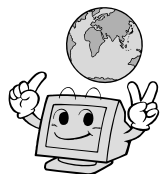
各委員会の構成

○委員長

○副委員長

常任委員会

総務委員会 (12人)



○桑田 真弓
大田 祐介
早川 佳行
蔵本 久

○宮地 徹三
西本 章
小川 勝己
背尾 博人

榊原 則男
高橋 輝幸
村井 明美
三谷 積

民生福祉委員会 (12人)



○稲葉誠一郎
今岡 芳徳
千葉荘太郎
桑原 正和

○池上 文夫
中安加代子
浜本 洋児
徳山 威雄

土屋 知紀
高田 健司
小林 茂裕
上野 健二

文教経済委員会 (11人)



○須藤 猛
塚本 裕三
川崎 誠
小川 眞和

○瀬良 和彦
神原 孝己
池ノ内幸徳
森田 泰元

五阿彌寛之
法木 昭一
藤井 真弓

建設水道委員会 (11人)



○藤原 照弘
原田 俊朔
藤原 泰助
黒瀬 隆志

○熊谷 寿人
式部 昌子
高木 武志
川崎 卓志

大塚 忠司
岡崎 正淳
佐藤 和也

議会運営委員会 (14人)

○池ノ内幸徳
神原 孝己
黒瀬 隆志
川崎 卓志

○早川 佳行
法木 昭一
川崎 誠
徳山 威雄

千葉荘太郎
稲葉誠一郎
小川 勝己

瀬良 和彦
須藤 猛
小林 茂裕

特別委員会

行財政改革特別委員会 (16人)

○藤井 真弓
岡崎 正淳
早川 佳行
桑原 正和

○五阿彌寛之
今岡 芳徳
藤原 照弘
徳山 威雄

原田 俊朔
宮地 徹三
川崎 誠
小川 眞和

式部 昌子
稲葉誠一郎
川崎 卓志
背尾 博人

都市整備特別委員会 (15人)

○小林 茂裕
中安加代子
高木 武志
黒瀬 隆志

○浜本 洋児
高田 健司
瀬良 和彦
上野 健二

土屋 知紀
熊谷 寿人
桑田 真弓
森田 泰元

高橋 輝幸
池上 文夫
佐藤 和也

競馬事業特別委員会 (15人)

○法木 昭一
大田 祐介
神原 孝己
村井 明美

○千葉荘太郎
西本 章
須藤 猛
蔵本 久

大塚 忠司
藤原 泰助
池ノ内幸徳
三谷 積

榊原 則男
塚本 裕三
小川 勝己

平成18年 6月定例市議会

議会関係の選挙・選任案件を除き、福山市長期総合計画審議会条例の一部改正についてなど32議案が提出され、議員提出の条例改正案の否決1件を除き、意見書案3件とともに、いずれも原案どおり可決しました。

このほか、教育委員会の委員の任命や議会選出の監査委員の選任など13件の人事案件に同意しました。この定例会では、各会派の議員8人が議案や市政全般について質問を行いました。その概要は、次のとおりです。

質問および答弁(要旨)

公共工事の事務処理適正化 (水曜会)

問 ①透明性、公平性を確保した今後の随意契約のあり方は。②事件の再発防止に向けた検査体制の強化は、現体制で可能か。③清算払いをする過年度工事の改善策は。

答 ①透明性、公平性の確保に向け、1000万円未満の工事にも必要に応じて建設工事指名業者審査会の審議を経ることなど検討していく。②施工から検査までの事務処理を、工事担当課だけではできない制度としたことで再発防止はできると考える。③昨年4月か

ら、請負契約締結後工事に着手する事務処理をしている。庶務担当課でもチェック機能の徹底を図る。

◆関連質問

- ・下水道事業と総合評価入札制度の導入 (市民連合)
- ・公共工事の発注のあり方 (公明党)
- ・今後の下水道事業のあり方 (新政クラブ)
- ・市職員の綱紀粛正について (誠友会)

下水道事業について (日本共産党)

問 実態調査で889件の不適切な処理が明らかになり、不正常が常態化している。市民の信頼回

復のため、随意契約のあり方を見直し、事後発注は厳しく戒め、工事完成後の検査を厳密に行うこと。監査事務を厳格にし、第3者チェック機能の設置も行うこと。

答 随意契約は、予定価格が130万円までの工事や競争入札に適さないなど政令で定める場合に限るとされている。工事は契約後着手することや、50万円以上の工事検査は技術検査課で行うなど体制の拡充を図り、市建設工事損失補償事務処理要綱などによる方策を講じた。

◆関連質問

- ・架空発注問題の再発防止 (明政会)

神辺町合併建設計画(水曜会)

問 川南まちづくり事業の手法として区画整理事業区域、市街化調整区域、地区計画区域の3手法に分けているが、地区計画に対する理解と合意形成が最も重要と考えるが、今後の取り組みは。

答 地区計画は、それぞれの地区の特性にふさわしい良好な市街地をつくるための制度で、都市計画で決定する。計画案は、土地の



吉野山から川南まちづくり事業区域を望む

合併4町の建設計画(水曜会)

問 本市が予定していた合併は実現したが、合併4町の住民が合併してよかったと実感できる行政のかじ取りが必要である。合併建設計画実施に当たっての市長の考えは。

答 合併建設計画は、合併後の10年間に実施する事業計画の内容や財政計画を定めたもので、合併



郵便配達の様子

地域を含む市全体としての一体的なまちづくりや持続的な発展のための重点事業として、着実に実施していくことが基本と考える。事業環境が整ったものは予算措置を行い、着実に事業が実施できるように取り組んでいく。

郵便局の再編計画について (市民連合)

問 先般示された郵便局の再編計画案は、芦田、加茂、服部、藤江、備後本郷の各郵便局の集配業務を廃止するもので、認められない。市として、郵政公社に再考を求めること。併せて、市内の郵便番号の不統一による特別料金サ―

ビスの格差もあり、解消を求めること。

答 再編計画では市内5局が無集配局となり、時間外業務の廃止に伴い、日中不在家庭の書留や小包などの時間外の受け取りができなくなるなどの課題がある。的確な対応を郵政公社に強く求め、また、郵便番号も合併した地域を含め、一体的になるよう改善を要望していく。

協働のまちづくりにおける意識づくり (新政クラブ)

問 行政内部の人材育成は、今後どのように行っていくのか。また、行政内部の意識づくりは、どのように取り組むのか。意識高揚策のため、たとえば全職員へのキャンペーンシールの配付など効果があると考えるが。

答 人材育成は、協働のまちづくり理念に基づいて実施されるよう基本的研修、コーディネーター育成研修などを実施していく。意識づくりは、職員の積極的な地域活動への参加を呼びかけ、地域の期待に応えられるよう努めていく。意識高揚策のためのキャンペーンシールなどは今後検討していく。

◇関連質問

- ・職員の資質の向上と派遣研修について
(水曜会)
- ・子どもたちや市民の安全・安心と協働のまちづくり
(市民連合)

個人情報保護について (誠友会)

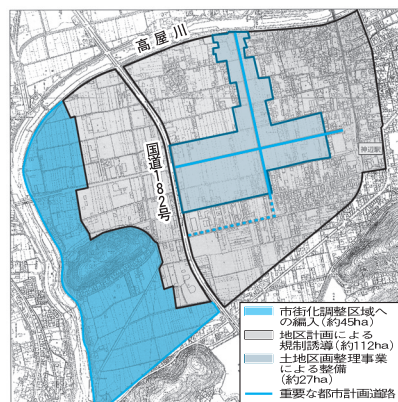
問 個人情報保護法の施行に伴い、学校現場においてクラス名簿が作られない、卒業アルバムに住所が載っていないなどの過剰な反応があるが、市として個人情報に関わたるの現状をどのように把握しているのか。

答 法律についての理解が十分でないことに起因した事象が起きていることは承知している。必要性のある名簿は、個人情報収集の原則を守り、名簿の必要性、適正管理などを検討し、該当者の同意を得た上で作成される必要がある。引き続き市民への啓発と制度の厳格な運用に努める。

神辺地区(川南)まちづくり事業 (日本共産党)

問 112ヘクタールの地区計

画の地権者は何人か。27ヘクタールの区画整理事業は、減歩率が29.8%で地権者の賛成は41%しかない。都市計画道路は用地買収方式で行ってほしいとの要望や、土地・建物への規制は困るとの声もあり、拙速なあり方を改め抜本的な見直しを。



神辺地区まちづくり基本計画図

答 本事業は、合併協議で強い要望を受け、合併協議会で合意され、合併建設計画に位置づけられた事業である。地区計画区域の地権者は約1400人。都市計画道路の建設費は、事業計画書を作成する中で定めていく。今後、事業推進に向け関係者の合意形成に努める。



企業誘致と工業団地（明政会）

問 福山北産業団地は70%を販売済みであるが、50万都市を標榜する本市にとって、さらなる発展の基礎的要素として工業団地の確保も必要な条件である。新たな工業団地造成と、市外企業が進出しやすい環境づくりについての考えは。

答 新たな産業団地の確保については検討する必要があると考えており、立地環境や需要予測に応じた規模、計画から分譲開始までの施工期間の短縮など、企業ニーズに即した取り組みが必要と考える。また、産業活性化プログラムに沿って企業誘致の実現に努める。

若者の就労支援（公明党）

問 安定した雇用機会を得にくいという経済的理由が晩婚化・非婚化を促進しており、安定した就労こそ次世代形成の土台である。若年者に対する職業観の啓発や就労支援が求められるが、現在の取り組みと今後の計画、相談体制は。

答 若年者就労相談業務や若者しごと館福山サテライト事業をはじめ、若年者求職支援セミナーお



ひろしま若者しごと館 福山サテライトの就労相談の様子（福山駅サントーク内）

よび学生に職業観を養ってもらう若年者職業観醸成事業などに取り組んでいる。今年度新たに、ニート、フリーターや家族を対象としたセミナーを計画し、関係機関と連携し若者の就労支援に取り組む。

◆関連質問

・若者の雇用問題と格差社会

（市民連合）

観光行政について（水曜会）

問 本市には、ばら祭等のイベント、各地域の祭りや名所旧跡、文化財などが多数あり、それぞれを結んだ観光ルートの設定や有機的関連性をもったPRが必要では。

また、これからの観光行政は、体験型および宿泊滞在型の観光施策が重要と考えるが、このような施策の取り組みは。

答 観光ルートは、資源を整理し、区域・テーマ・季節別に組み合わせるなど、総合力を発揮できる魅力あるルート設定を検討し情報発信する。体験型および宿泊滞在型の観光は、横島の底引き網体験や仙酔島の宿泊体験型観光があるが、今後はニーズに対応した観光施策についても検討していく。

がん対策について（公明党）

問 がん対策基本法案の成立により、本市のがん対策にどのような効果が期待できるのか。また、放射線治療の専門医や医療従事者の確保・育成および緩和ケアの取り組みについての見解は。

答 予防・早期発見の対策として喫煙や生活習慣の改善、検診の質や受診率の向上などに積極的に努めてきたが、法案の成立で、より効果的な取り組みができるようになる。市民病院では、いち早くCT一体型の放射線治療装置を導入し、専門医を確保。緩和ケアについても専門の医師を確保し、病棟

をオープンしている。

移植医療への理解の促進（誠友会）

問 全国に約13000人の腎臓移植待機患者がいるが、行政としても移植医療に対する正しい知識を広める取り組みを検討してはどうか。ドナーカード（臓器提供意思表示カード）の普及だけでなく、本当の意味での「提供できる意識づくり」についての市民への意識啓発は。



ドナーカードと運転免許証にはった臓器提供意思表示シール

答 移植医療に対する知識の普及については、市のホームページや公民館・図書館にて啓発に努めている。ドナーカードについては、公共施設の窓口や成人式で配付し

ており、カードの普及とともに移植医療の正確な知識、正しい理解を市民に進めていく。

新エネルギー導入計画 (新政クラブ)

問 温室効果ガス排出削減に向けて、太陽光発電や、電気と熱を同時に発生させ、エネルギーを有効かつ多角的に利用するコージェネレーションといった新エネルギー導入は重要と考えるが、今後の導入予定は。



太陽光発電設備を設置したうつみ市民交流センター

答 公共施設への新エネルギーの導入に当たっては、地球温暖化対策や省エネルギーに対する市民

への啓発という観点から太陽光発電設備を設置してきた。(仮称)中央図書館、(仮称)西部市民センターにも太陽光発電設備を計画しており、費用と効果を見極める中で導入に努めていく。

要援護者への災害時支援 (市民連合)

問 寝たきり独居老人や障害者などは、災害時の情報が伝わりにくく、また、緊急時の避難についても困難が予想されるが、個人情報保護の観点を踏まえた要援護者の把握、情報伝達など、地域での支援体制の構築を。また、避難誘導などの手引書の具体的な内容は。

答 個人情報取り扱いについては、本人同意による直接収集を基本にし、地域の中で日常的なつながりのある人を支援者をお願いし、情報の伝達や避難場所への誘導を検討している。公民館の公共端末なども、災害時における地域との連携を図る手段として活用を検討する。

障害者自立支援法について (水曜会)

問 本年10月からの本格実施の前に、①一部負担の導入で負担が

大きくなるため、負担軽減制度の創設をする自治体もあると聞か、本市としての支援策は。②自立支援医療、地域生活支援事業など一割負担が何種類もあると聞か、その実態は。

答 ①負担に見合った障害福祉サービスの充実、それを補完する地域生活支援事業の充実を図り支援に努める。②自立支援医療については、重度心身障害者や精神障害者の医療費助成制度で負担の軽減を図っている。地域生活支援事業は、今後検討する中で負担の軽減に努める。

◆関連質問

- ・制度実施に向けての課題 (公明党)
- ・障害程度区分認定の進捗状況、障害者の就労対策 (明政会)
- ・施設と利用者の実態調査と軽減策 (日本共産党)

各種イベントのごみ減量 (明政会)

問 ばら祭2006では、ごみの減量やリサイクルに取り組み、延べ600人のボランティアで4、4トンのごみを分別し、100%



ごみ分別ステーション(ばら祭2006会場)

のリサイクル率であった。福山方式としてマニュアル化して、市内の他のイベントに広げたり、全国に発信してはどうか。

答 本年度、新たに祭委員会に市民との協働による部会を設け、会場内11カ所の分別ステーションで、9種類の分別を行った。また、自分の箸やカップ持参運動、クリーンパトロール隊による放置ごみの収集や広報活動にも取り組んだ。今後もこの取り組みを継続して定着させ、他のイベントにも働きかけていきたい。

◆関連質問

- ・一般廃棄物処理基本計画について (市民連合)

政務調査費について

議員の調査研究活動などの経費に充てるために交付されている政務調査費の引き上げについて、3月22日、議長は市長に対し、福山市特別職報酬等審議会への諮問を要請しました。4月24日、市長が同審議会に諮問し、審議会は慎重に審議の結果、6月12日、市長に対し、議員一人当たりの月額を13万円とすることが適当であるとの答申をしました。

公共交通対策

特別委員会の解散

本市の公共交通のうち、廃止、減便が相次ぐバス交通について、市民生活に与える影響が懸念されることから、その確保策について調査研究するため2005年6月に公共交通対策特別委員会を設置しました。以来、参考人の意見を聴くなど議論を重ねてきましたが、議会の意見を踏まえ、市において、ゾーンバスシステムを中心とする福山市生活バス交通利用促進計画を策定しました。これにより、本委員会はその調査目的を達成し、解散しました。

9月定例会の開催予定

9 / 1(金)	本会議（市長提案説明など）
7(木)	本会議（代表質疑）
8(金)	本会議（代表質疑）
11(月)	本会議（代表質疑）
12(火)	本会議（代表質疑、一般質問）
13(水)	常任委員会（総務、民生福祉、文教経済、建設水道）
14(木)	予算特別委員会
15(金)	予算特別委員会
21(木)	議会運営委員会 本会議（委員長報告など）
22(金)	企業会計決算特別委員会
25(月)	企業会計決算特別委員会
26(火)	企業会計決算特別委員会

○本会議・委員会とも午前10時から開会予定です。
（ただし、9月21日の本会議は午後1時から）
○詳しくは、議会事務局 ☎084-928-1136 までお問い合わせください。

可決した意見書

議員提案による次の意見書を可決し、福山市議会的意思として、政策の実現に向け国会および関係省庁に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

- ◆義務教育費国庫負担制度に関する意見書
- ◆日本郵政公社の集配局再編計画に関する意見書
- ◆地方の道路整備の促進に関する意見書

請願の審議結果

議会に提出された請願の審議結果をお知らせします。
「消費税大増税反対に関する要望について」（不採択）

[ホームページアドレス]

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/gikai/>

9月から議会のホームページアドレスが次のように変わります。

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>

[メールアドレス]

gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp



編集後記

タゴールは「すべてのあかちゃんに神様が人間に絶望していないというメッセージを携えて生まれてくる」と詩っています。

しかし、出生率は年々低下し、少子化の流れは止まることを知らないようです。何より、若い人たちが希望を持てる社会をつくることが望まれます。

6月定例会では、議会の新体制が決まりました。私たちも新たな気持ちで議会だより編集に取り組んでいきます。
（中安）

ふくやま市議会だより

編集委員会

委員長 桑原 正和
副委員長 池上 文夫
委員 大塚 忠司
委員 原田 俊朔
委員 岡崎 正淳
委員 大田 祐介
委員 中安 加代子
委員 高木 武志